

◆ 2004年 第12週 (3/15~3/21) の感染症発生動向

■ 全数把握感染症の発生状況

1~4類感染症 : 3件 (O157 2件高松市、O119 1件中讃)
5類感染症 : 0件

■ 定点把握感染症の発生状況

☆ 比較は定点あたりの人数による

○ 小豆地区で水痘が流行中

2004年第12週の感染症発生動向調査による報告患者総数は517人で、前週(695人)比74.4%となった。伝染性紅斑が東讃地区で流行しており、4週連続で流行警報地区になっている。感染性胃腸炎(ウイルス)は、前週に比べ減少したが、中讃地区からの報告が多い。インフルエンザの報告は5週連続で減少した。全地区で減少傾向にあり、今後も減少していくと思われる。水痘の報告は増加した。特に小豆地区からの報告が多く、流行警報地区になった。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は増加傾向にあり、高松・東讃地区からの報告がやや多い。流行性耳下腺炎は横ばいである。

◆ 今週の上位疾患(小児科定点からの法定届出疾病)

疾患名	今週	前週	前週比	過去5週の平均	過去10年の平均	報告の多い地区
① 感染性胃腸炎(ウイルス)	7.1人	9.4人	75.5%	10.0人	9.5人	中讃↘ 小豆↗ 東讃↘
② 水痘	2.7人	2.6人	101.2%	2.3人	2.0人	小豆↗ 中讃→ 高松↘
③ インフルエンザ	1.8人	4.3人	41.6%	13.6人	5.5人	県内全域↘
④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.3人	0.8人	170.8%	0.9人	0.5人	高松↗ 中讃→ 東讃↗
⑤ 流行性耳下腺炎	0.5人	0.5人	106.7%	0.4人	1.3人	高松→ 東讃↘ 中讃→

◆ 病原微生物検出情報

細菌	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
C.jejuni	1	糞便	3/15	高松市	急性大腸炎
ウイルス	分離数	検体	検体採取日	地区	病名
A群 ロタウイルス	1	糞便	3/1	高松市	嘔吐下痢症

◆ 定点医療機関からのコメント

- 県立中央病院(高松市): インフルエンザA型
- 松原病院(三木町): エスプラインインフルエンザA&B-N A型2名
- 国立善通寺病院(善通寺市): 嘔2件 病原性大腸菌O-119(ペロ毒素+) 1件、アデノ+、㊦+1件

◆ 気象通報

第12週の平均気温 : 10.9℃(過去の30年の平均気温 : 8.5℃)
第12週の平均湿度 : 60.1%

